



AETO & AEP2

Asian and Middle Eastern Studies, Part IA and Preliminary Examination for
Part II

Wednesday 5 June 2019 9.00 – 12.00

Paper J2

Japanese grammar and translation

Answer **both** sections and **all** questions.

Write your number **not** your name on the cover sheet of **each** answer booklet.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

Section A

1. Write out the full sentences into your answer booklet, filling in the spaces between brackets with the correct particles. If no particle is needed, mark with an X. Then translate the sentences into **English**: [25 marks]

- (a) 来年[]4月[]一年間[]、フランス[]留学する[]こと[]になりました。
- (b) コーヒー[]紅茶[]どちら[]好きだ[]、紅茶のほうが[]ケーキ[]合う[]思う。
- (c) 去年[]初めて[]ロンドンに来た[]時、雨[]降っていてとても寒かった[]をよく[]覚えています。
- (d) 遅れないよう[]早目[]家[]出たが、事故[]せい[]バスが遅れたために、今朝の会議[]間[]合わなかった。
- (e) 正さんが山[]登る時は歩きやすい[]くつ[]はいていく[]ことが大切だ[]言っていました。
- (f) 私は自分が正しい[]信じている[]こと[]したので人[]どんな[]笑われてもかまいません。
- (g) あした[]会議まで[]このレポート[]読んでおかなければならないのだ[]、忙しすぎて、読む[]時間[]全く[]作れない。
- (h) 昨日の夕方、学生[]帰る時に[]研究室の戸[]かぎをかけるよう[]言ったのに、今日、来てみる[]戸[]閉まっていたが、かぎ[]かかっていたいなかった。

2. Create full **Japanese** sentences using the following elements from (a) to (g) below. You may use the verbs in any tense or aspect you wish and add any further elements. Then translate into **English** the sentences that you have produced: [25 marks]

Example:

[Verb + みる] [東京]

去年東京へ行った時、おすしを食べてみたがおいしくなかった。

When I went to Tokyo last year, I tried some sushi but it wasn't tasty.

(a) [Verb + ように] [Verb + ておく]

(b) [Verb + なら] [Verb + てもいい]

(c) [Verb + うちに] [Verb + ほうがいい]

(d) [Verb + ので] [ちっとも]

(e) [Verb + ばかりなのに] [もう]

(f) [Verb + 上] [Verb + てくれた]

(g) [Verb + よりも] [Verb + ほうが]

(TURN OVER)

Section B

3. Read the following **unseen** text and answer the questions that follow: [25 marks]

い は ふ ゆ う 伊波普猷

① 「^{おきなわ}沖縄学^{い は ふ ゆ う}の父^{おきなわ}」伊波普猷^{い は}は、1876^{な は}年に^{ゆうふく}沖縄県那覇市の裕福な家に^{い は}生まれた。伊波^{おきなわ}が^{おきなわ}生まれたときは、^{おきなわ}沖縄はまだ一般には「^{おきなわ}沖縄」と呼ばれていなかった。江戸時代、^{おきなわ}沖縄は政治的には^{みん しん}明・清^{さつま}(今の中国)や^{か ご し ま}薩摩^{い は}(今の鹿児島県)の下に置かれてはいたが、「^{りゅうきゅうおうこく}琉球王国」という^{どくりつ}独立した国^{い は}だった。小さな島国であるが、^{りゅうきゅう}東アジアと^{りゅうきゅう}東南アジアの間の^{ぼうえき}外交や^{りゅうきゅう}貿易の^{どくじ}国際的な^{い は}中心地のひとつであった^{りゅうきゅう}琉球では^{い は}独自の^{い は}文化が^さ花咲いていた。しかし、1868^{い は}年に^{い は}明治時代に入ると^{い は}日本政府は「^{りゅうきゅう}琉球は^{い は}日本だ」と^{しゅちよう}主張し始める。1979^{い は}年には^{りゅうきゅうおうこく}400年近く続いた^{い は}琉球王国がなくなり、^{おきなわ}日本の一つの^{おきなわ}県としての^{おきなわ}沖縄県が^{たんじょう}誕生する。伊波^{い は}が^{い は}生まれたのは、^{りゅうきゅう}琉球が^{おきなわ}沖縄に^{い は}変わる^{い は}そんな^{い は}激動の^{い は}時代であった。

② 学校では他の^{おきなわ}県から^{い は}先生が^{い は}沖縄に^{い は}教えに来るようになり、^{い は}日本人になるための^{い は}教育が進められた。中学に入った伊波も、^{い は}琉球風^{い は}の^{い は}髪や^{い は}服をやめ、^{い は}標準語^{い は}を勉強しなければならなかった。ある時、^{い は}校長が^{い は}生徒の前で「^{い は}みなさんは^{い は}標準語^{い は}さえ^{い は}話せないのに、^{い は}英語も勉強しなければならぬのは^{い は}大変だ」と言い、^{い は}英語の^{い は}授業をなくそうとする^{い は}事件が起こり、^{い は}校長の^{い は}意見に^{い は}反対する^{い は}先生達が^{い は}やめさせられてしまった。その中に^{い は}生徒に^{い は}人気の^{い は}田島先生^{い は}がいた。^{い は}沖縄の^{い は}古い^{い は}歌『^{い は}おもろさうし』を^{い は}研究し、^{い は}伊波達^{い は}に「^{い は}沖縄には^{い は}すばらしい^{い は}文化がある」と^{い は}教えていた^{い は}先生だ。その^{い は}田島先生^{い は}をやめさせたことに^{い は}怒った^{い は}伊波は、^{い は}仲間と^{い は}ストライキをした。事件は^{い は}大きくなり、^{い は}校長は^{い は}どうも^{い は}沖縄を^{い は}逃げ出してしまった。しかし、^{い は}ストライキを^{い は}起こした^{い は}伊波達も、^{い は}学校をやめさせられてしまう^{い は}結果となった。

③ それからの^{い は}伊波は、^{い は}東京へ^{い は}行って^{い は}政治家^{い は}になろうと^{い は}考えた。ある日、^{い は}中学時代の^{い は}田島先生^{い は}に^{い は}会い、^{い は}沖縄の研究^{い は}を^{い は}続けるように^{い は}と^{い は}勧められ、^{い は}沖縄研究^{い は}の^{い は}資料を^{い は}全部^{い は}先生から^{い は}もらい^{い は}受けた。田島先生^{い は}の^{い は}沖縄への^{い は}思いに^{い は}心が^{い は}動いた^{い は}伊波は、^{い は}政治家^{い は}の^{い は}夢を^{い は}捨て、「^{い は}沖縄を知るには、^{い は}まず^{い は}古い^{い は}言葉が^{い は}わからなければ」と^{い は}東京大学^{い は}に^{い は}入学して^{い は}言語学^{い は}を^{い は}学んだ。そして、^{い は}卒業すると^{い は}すぐに^{い は}沖縄にも^{い は}どり^{い は}研究を^{い は}始めたの^{い は}だった。

④ しかし、^{い は}伊波の^{い は}沖縄研究^{い は}も^{い は}簡単には^{い は}進ま^{い は}なかった。それまで^{い は}沖縄の研究^{い は}をする^{い は}人は^{い は}ほとんど^{い は}いなかったため、^{い は}歴史の^{い は}資料が^{い は}ちゃんと^{い は}整理^{い は}されて^{い は}いなかった^{い は}のである。そこで^{い は}沖縄の^{い は}人の^{い は}家を訪ねて^{い は}歩き、^{い は}その家^{い は}で見つけた^{い は}もの^{い は}を書き^{い は}写したり、^{い は}歴史^{い は}を知っている^{い は}老人^{い は}達から^{い は}話を^{い は}聞いたりして、^{い は}長い^{い は}時間^{い は}をかけて^{い は}研究^{い は}を^{い は}続けた。

⑤ 1910年に沖縄県立図書館ができた時、伊波が集めた資料は4000以上になっていた。図書館の館長になった彼は、研究を続けながら、沖縄の歴史や文化を人々に知らせる活動を始めた。伊波が行った研究の中で、大切な資料となったのがオモロだった。オモロは神や王、英雄、戦い、そして自然などをうたったもので、大昔の人々の生活や考え方がよくわかるものだった。それまで知られていなかったオモロを研究しながら、それを本や新聞に発表した。これにより、自信をなくしていた沖縄の人たちも、沖縄のすばらしさを見直し、ほこりを持つようになったと言える。

⑥ 伊波普猷は、最後の本『沖縄歴史物語』を書き終えた次の年に72歳で亡くなった。彼が残した300以上の論文や本は、沖縄県立図書館で今も広く使われている。

Based on <http://rca.open.ed.jp/city-2001/person/08iha/index.html>

【言葉】

- ① 裕福 = 金持ち 明 = Ming 清 = Qing 王国 = kingdom 独自 = original 政府 = government
 主張する = to maintain 激動 = tumultuous
- ② 琉球風 = 琉球的 標準語 = standardised language
- ③ 勧める = to recommend 資料 = material
- ⑤ 王 = king 英雄 = hero 自信 = confidence 見直す = to re-evaluate ほこり = pride

【問題】

- (a) Translate paragraph ① into English. [12 marks out of 25]
- (b) Answer in English: According to paragraph ② what kind of education was introduced in Okinawa in the Meiji Period? [2 marks out of 25]
- (c) Answer in English: Describe the strike incident mentioned in paragraph ② in as much detail as possible. [3 marks out of 25]
- (d) Answer in Japanese: どうして伊波は政治家になる夢を捨てましたか。 [2 marks out of 25]
- (e) Answer in English: List two methods that Iha used to collect data on Okinawan culture. [2 marks out of 25]
- (f) Answer in English: What is the Omoro? [1 mark out of 25]
- (g) Answer in Japanese: なぜ伊波普猷は「沖縄学の父」と呼ばれていると思いますか。 [3 marks out of 25]

(TURN OVER)

4. Imagine that you are Chris, a university student in the UK. Below is an excerpt from an email from Akiko, your friend from Japan. Read the email carefully and write Akiko a complete email reply **in Japanese**: [25 marks]

・・・クリスさんがイギリスに帰ってからもう3ヶ月になりますね。クリスさんが日本に留学していた時は英語の勉強を手伝って下さって本当にありがとうございました。おかげさまで4月から東京の大学に入学し、将来、日本語の先生になるための勉強を始めました。日本語の文法や教え方についての授業に出席したり、同じ大学で日本語を学んでいる外国人の学生に日本語を教えるボランティアをしたりしています。私は日本人なので日本語についてよく知っているつもりでしたが、知らないことがたくさんあります。レポートもたくさん書かなければいけないので毎日、忙しいですが、楽しく過ごしています。

実は「外国での日本語の勉強」について調査し、来月、授業で発表をすることになりました。それでクリスさんにいくつか聞いてみたいことがあるのですが、答えていただけたらうれしいです。まず、クリスさんはどうして日本語に興味きょうみを持ったのですか。イギリスではどこで日本語を勉強することができますか。どんな人が学んでいますか。もしクリスさんがイギリス以外の国の日本語のクラスについて知っていたら、それも教えて下さい。日本語の勉強で特に難しいのは何ですか。私の大学の留学生たちは漢字が難しいと言っていますが、クリスさんはどうやって漢字を勉強しましたか。クリスさんにとって、どんな日本語のクラスが理想的ですか。

たくさん質問してしまってすみません。クリスさんもお忙しいと思いますが私の質問に答えて下さったら本当にありがたいです。どうぞよろしくお願いします。

明子

END OF PAPER

Page 6 of 6